

平成18年度再チャレンジ支援地域モデル事業計画書

都道府県・政令指定都市 宮崎県

<p>1. 事業の全体像</p>	<p>(事業の名称) ・女性のチャレンジ支援事業</p> <p>(事業実施主体・連携協力機関等) ・実施主体 宮崎県 宮崎県男女共同参画センター ・連携協力機関等 延岡市男女共同参画センター 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんぴあ」 都城市男女共同参画センター 「女性のチャレンジ支援連絡協議会」の構成団体 国の機関 宮崎労働局(職業安定課・雇用均等室)、 ハローワーク(宮崎就職支援センター) 関係機関 21世紀職業財団、雇用能力開発機構、 職業能力開発センター、働く婦人の家、 宮崎県産業支援財団、大学(コンソーシアム宮崎)、 専門学校(専修学校・各種学校連合会) 生涯学習センター、公民館、図書館、 NPO協働センター、ボランティアセンター ファミリーサポートセンター、社会福祉協議会 商工会議所、商工会、経営者協会、中小企業団体 中央会、宮崎県農業後継者育成基金協会、JA 県庁各課 商工関係、労働関係、農林水産関係、児童関係、 高齢者関係所管課</p> <p>(主な事業実施場所) ・宮崎市 宮崎県男女共同参画センター ・延岡市 延岡市男女共同参画センター ・日向市 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんぴあ」 ・都城市 都城市男女共同参画センター</p> <p>(実施にあたり組織する会議、協議会、組織等) ・女性のチャレンジ支援連絡協議会</p>
<p>2. 事業のねらい ・特色</p>	<p>(事業の目的と現状) 女性のチャレンジ支援については、県をはじめ、様々な機関、団体が独自に事業を実施しているが、チャレンジをしようとする女性特に子育て中の女性が自分に必要な情報や相談を受けにくい状況にある。このため、身近な地域で気軽に再チャレンジに関する相談ができ、自分に必要な情報やサービスを一元的に得られるように、女性のチャレンジ支援について、重点的に取り組むものである。</p> <p>(参加対象女性層、人数等) ・子育て等で仕事を中断したが、再チャレンジしたい女性 ・実力を付けたい、社会に貢献したいと考えている女性 ・再チャレンジしたいが、育児・介護で困っている女性</p> <p>・人数 女性の無業者のうち、就業希望者(15歳以上) 67,200人(4人に1人) 資料：平成14年就業構造基本調査結果(宮崎県)</p>
<p>2. 事業のねらい</p>	<p>(女性が支援を受けやすくなるための工夫等)</p>

<p>・特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のチャレンジ支援情報を一元的に提供する「チャレンジサイト」を県庁ホームページに整備し、相談窓口である県男女共同参画センター、県内3市の男女共同参画センターにおいて、利用できるようにする。 ・身近な場所で相談できるように、県内3市の男女共同参画センター等においても、週1回出前相談を実施する。 <p>(事業の成果目標・評価への考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業利用者数 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談者数 県男女共同参画センター 480人 3市センターでの出前相談 216人 (2)チャレンジサイトアクセス件数 1,200件 (3)再チャレンジ支援講座受講者 350人 ・上記のうち再就職、起業者数 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談者数 県男女共同参画センター 144人 3市センターでの出前相談 65人 (2)再チャレンジ支援講座受講者 150人
<p>3. 事業内容・年間スケジュール</p>	<p>(情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のチャレンジ支援情報を一元的に提供する「チャレンジサイト」を県庁ホームページに整備する(県費事業)。チャレンジ支援情報は、各支援機関のネットワークとして県に設置する「女性のチャレンジ支援連絡協議会」において提供を受け、随時更新する。 ・年間スケジュール <ul style="list-style-type: none"> (1)4～6月 「女性のチャレンジ支援連絡協議会」の開催 各支援機関の支援情報を収集 (2)7～9月 チャレンジサイトの整備(県費事業) 事業の広報・啓発 (3)10月以降 チャレンジサイトの運用開始 随時サイトの内容を修正 <p>(相談事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県男女共同参画センターに「女性のチャレンジ支援」相談窓口を平成18年10月から設置し、再チャレンジ支援専門相談員を2名配置する。また、県内3市の男女共同参画センターにおいて巡回相談を実施する。 ・年間スケジュール <ul style="list-style-type: none"> (1)10月以降 県男女共同参画センターに相談窓口の設置 再チャレンジ専門相談員を2名配置し、県センターでの相談及び県内3市の男女共同参画センターでの巡回相談を実施する。(月4回×3カ所=12回) <p>(セミナー、講座等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再チャレンジ講座の開催 県内3地区で再チャレンジのための連続講座を開催する。 回数 5回×3地区=15回 地区 県央(宮崎市)、県北(延岡市・日向市)、 県西(都城市) 会場 県央 県男女共同参画センター 県北・県西 市男女共同参画センター等 ・企業セミナーの開催 再チャレンジ先として想定される企業の幹部社員や従業員を対象としたセミナーを開催し、女性人材の積極的活用や女性のライフサイクルに対応した柔軟な雇用環境の整備等について働きかけを行う。回数 3回 ・年間スケジュール
<p>3. 事業内容・</p>	

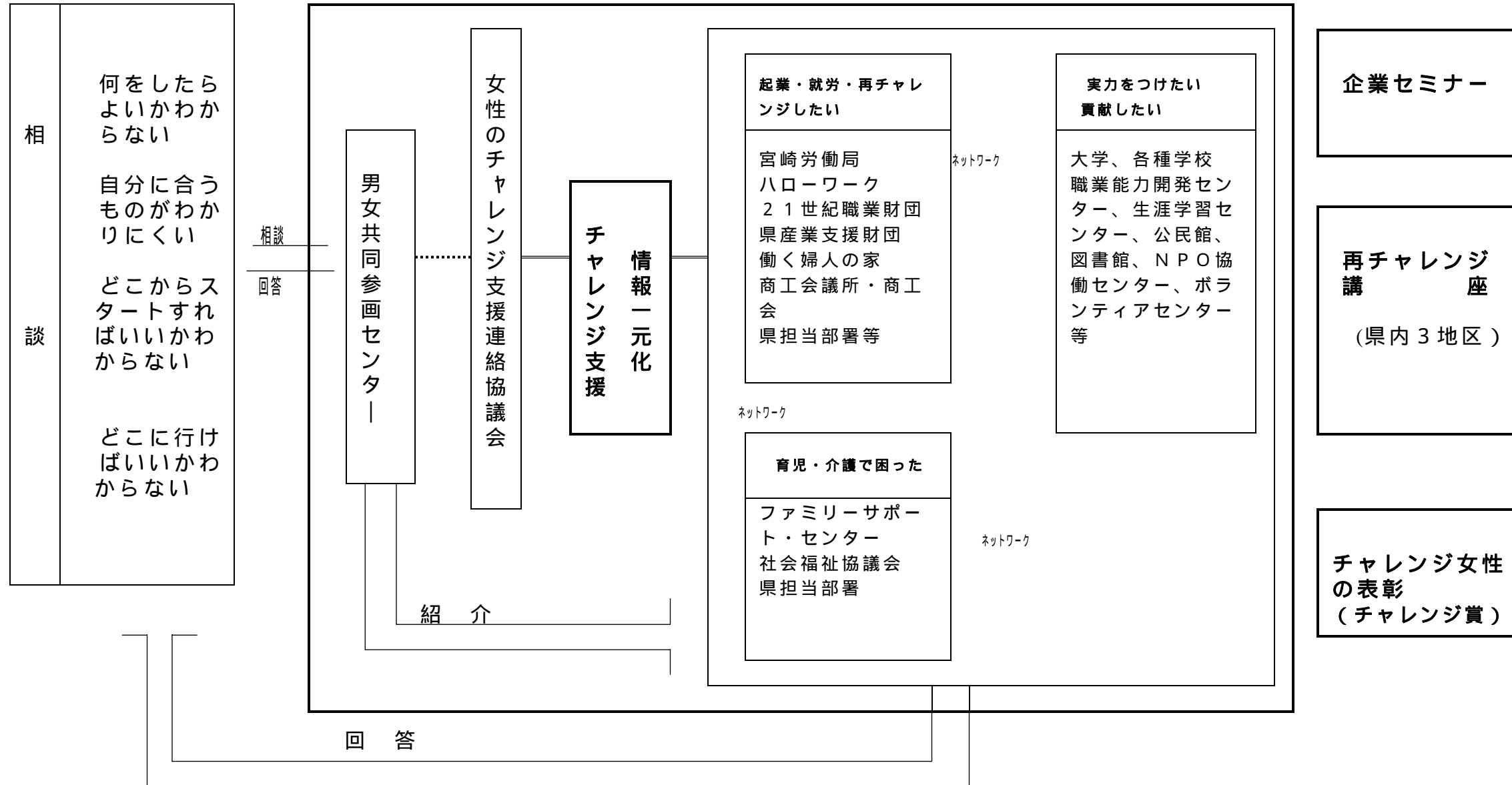
年間スケジュール	<p>(1) 6月～2月 再チャレンジ講座の開催 (2) 6月～3月 企業セミナーの開催 (その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業、NPO活動、地域活動等各分野で功績の著しい女性の表彰を行うチャレンジ賞(仮称)を創設する(県費事業) ・ロールモデルの収集及び情報提供(県費事業)
4. 事業の連携体制	<p>(関係支援機関等との連携方法、役割分担)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係支援機関のネットワークとして「女性のチャレンジ支援連絡協議会」を県に設置し、以下の事項を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> 関係支援機関の実施している事業実施内容の把握 関係支援機関の実施事業の課題及び連携 関係支援機関の講座・セミナー事業等の課題及び連携 <p>また、個別の分野(就労支援、起業、就農、職業能力向上等)については、関係する支援機関ごとに部会を設置して課題及び連携について検討するとともに、女性のライフサイクルに対応した柔軟な対応ができるような連携体制の整備を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 <ul style="list-style-type: none"> 就職情報の提供及び相談等 <ul style="list-style-type: none"> ハローワーク宮崎就職支援センターと連携し、就職に必要な情報を提供するとともに、専門スタッフによる相談事業を活用する。 起業関係 <ul style="list-style-type: none"> 雇用・能力開発機構や宮崎県産業支援財団等と連携し、起業に向けたノウハウや経営上の助言・指導、補助金・融資制度の紹介等を行う。 また、商工会議所や商工会及びJA等により起業に向けての情報を提供する。 就農関係 <ul style="list-style-type: none"> 県庁内農政担当部局や宮崎県後継者育成基金協会・JA等と連携し、就農に向けたノウハウや経営上の助言・指導、補助金融資制度の紹介等を行う。 職業能力向上等関係 <ul style="list-style-type: none"> 職業能力開発センターや職業訓練校、宮崎県産業支援財団等と連携し、職業能力向上に向けた職業訓練、講習会等の情報を提供する。 就労実績の把握及び継続した就労支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> 相談を受けた就労希望者の就労実績等について、個別に確認するなどにより把握するとともに、未就労者については引き続き支援を行う。また、就労に至らなかった原因等を把握し、今後の取組に反映させる。
5. 備考	<p>(事業総額概算及び内閣府負担分概算(千円))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費総額 6,718千円 ・内閣府負担分概算 3,764千円 <p>(その他)</p>
6. 担当部課等	<p>(所在地) 宮崎県橘通東2丁目10番1号 (部課室) 宮崎県地域生活部青少年男女参画課 (担当者) 家弓文孝</p>

女性のチャレンジ支援事業（宮崎県）

啓 発

「女性のチャレンジ支援」ネットワーク形成・相談システム

きっかけづくり



男女共同参画センター（宮崎県男女共同参画センター（宮崎市）、都城市・延岡市・日向市男女共同参画センター）